

・三位 一体後第十九主日

泉のほとり

今月の詩編「第百十二編」

まっすぐな人には闇の中にも光が昇る

憐れみに富み、情け深く、正しい光が。



成熟を目指して進もう

キリストの教えの初歩を離れて、成熟を目指して進みましょう。これが今日、神さまがわたしたちに語っておられる言葉です。

成熟を口指そう、とは、言葉を換えて言えば、大人になろう、です。子供に言っているわけではありません。大人に向かって、大人になろう、と言っているのです。

この箇所の前に、あなたがたは固い食べ物が食べられないで、乳を飲んでいて、と書いてあります。乳を飲むのは、幼い子どもです。体は大人でも、信仰者としての姿は、乳飲み子と変わらないと言っているのです。

誰でも生まれた時には、乳飲み子です。でも次第に手足が丈夫になって、動けなかったのが、這って移動するようになり、次には自分の足で立つようになり、歩くようになります。子どもが初めて歩いた時には、両親は大喜びするでしょう。

その次に両親が喜ぶのは、子どもが初めて自分の口で親を呼んだ時です。親と子が言葉を通して、深い心のつながりを作ることができるようになるからです。皆さんは、どうして教会に來ているのでしょうか。親に言われたから、とか、友だちがいるから、とか、学校で行くように言われたから、とか、いろいろ理由はあつてでしょう。でもそういう理由は、自分の足で立っているとは言えません。誰に言われたからではなく、自分の意志で礼拝に集い、自分の口で、「神さま、あ

なたに従います」と言った時に、わたしたちは大人の信仰者になるのです。

へブライ人への手紙が書かれたのは、ローマが支配していた時代です。その時に教会は人びとから迫害され、いじめられました。牢屋に入れられたり、殺された人も少なくありません。人びとの中には、信仰を捨ててしまったり、集会に集うことをやめてしまう人もいたのです。だから、成熟を目指そうと言われるのです。乳飲み子の信仰では、この難しい時代を、信仰者として生き抜くことは、できないからです。

大分前のことですが、「今いじめられている君に」というタイトルの本を読みました。いじめにあつて辛い思いをしている人へ、五〇人のカウンセラーが短い言葉を書いています。「あきらめないで」とか「自分を正當に守る勇気を持とう」という言葉もありました。

その中である牧師さんが書いていたのは、いじめはいつも時代にもあるので、あり得ないことが起こっているのではない、でも聖書に、神さまは試練と兵に必ず逃れる道を与えてくださる、そしてその経験を通して成長させてくださると書いてある。その言葉を信じよう、ということなのです。

自分の足で立とうとする人を支えてくれる事実があります。それは神さまは確かに生きておられて、信じる者を助けてくださるということ、神さまの言葉は真実だということなのです。

解放してください

イエスよ、わたしを解放してください。
愛されたいという思いから、
評価されたいという思いから、
重んじられたいという思いから、
ほめられたいという思いから、
好かれたいという思いから、
相談されたいという思いから、
認められたいという思いから、
有名になりたいという思いから、
侮辱されることへの恐れから、
見下されることへの恐れから、
非難される苦しみへの恐れから、
中傷されることへの恐れから、
忘れられることへの恐れから、
誤解されることへの恐れから、
からかわれることへの恐れから、
疑われることへの恐れから、

平野克己著 「祈りのともしび」より

マザー・テレサの祈り

すべてをあなたに

わたしを、この自分自身から
引き離してください。
あなたに感謝できるように。
自分については、
死んだ者とならせてください。
あなたのように安らかに憩えるように。
自分については、
枯れ朽ちたものとならせてください。
あなたのように花開くように。
わたしのうちを、からっぽにしてください。
あなたによって豊かに満たされるように。
自分については、
むなしくあらせてください。
あなたにすべてを献げうるように。
平野克己著 「祈りのともしび」より
エラスムスの祈り

今日のお知らせ

○いよいよ明日が第七一回のバザー当日です。礼拝後、着替えを済ませて、ホールにお集まりください。お祈りをしてから、一斉に最後のバザー準備に取りかかります。

○午後一時にお昼を一緒にいただきます。アナウンスをしますので、奉仕者は奉仕の手を休めて、ホールにお集まりください。

○今週はバザーの後片づけがありますので、事務所は九日に全日出勤し、○日に休みます。また幼稚園も、九・一〇日は休園です。聖書の会も、○日はお休みです。

○次週（四日（日））一回礼拝のあと、バザー感謝会と愛餐会、午後には小バザーを開きます。皆さんご参加ください。愛餐会の参加者数を確認するために、特別に四百円のチケットを販売しています。今日中にお求めください。

○バザー券の精算をできれば今日中にお願ひします。

○例年通り、バザーの残り品の中から柏教会のために献品をしたいと思えます。献品されるお店の方は、片付けの時に、取り分けておいていただけると感謝です。

○紫園香音楽伝道師は十月十一日木曜日は芦屋市民会館にて阪神女性の集い、十二日金曜日はグレース宣教会にて世界食料デー奈良北大会の音楽グッズとして奉仕をします。お祈りください。

明日のスケジュール

午前六時頃 会場係作業開始

午前六時半 会場係ほか朝食

午前八時 園庭で礼拝、

奉仕者は全員、この時間までには来てくださいます。一緒に礼拝をして、その後、一斉に最後の準備にかかります。

午前九時半 開場・開店

お客さんが会場に入ってから来られます。

午前九時五〇分 奉仕者はこれ以降、買い物ができます。

午後二時一〇分 園庭で抽選会。

一等 ダイソン コードレス掃除機

二等 マリオットホテル宿泊券

三等 デイズニールズシートペアチケット

四等 ティファール 取っ手のとれる鍋

五等 カセットガス式 焼き肉グリル

午後二時半 バザー終了。片づけ開始。

できるだけ多くの人で協力しながら手早く片づけをします。どうぞご協力お願い致します。

午後四時半 片づけ終了。解散。

次週はバザー感謝会

次週一四日まで一〇時から一回礼拝です。次週は礼拝後、バザー感謝会と愛餐会、小バザーがあります。愛餐会のチケットを四百円で販売中です。事務所でお求めください。次週のスケジュールは左記の通りです。

一〇時 主日礼拝

礼拝後、小バザー店作り

愛餐会準備

一二時 ホールでバザー感謝会

一二時二〇分 愛餐会

一三時〜一四時 小バザー

一四時 小バザー片づけ開始

聖書の会へどうぞ

今週は、お休みです。
次回は、10月17日(水)です。

ミニコンサート

10月25日(木) 12時30分より

ヴァイオリン独奏 中川あんな

無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ1番

「アダージョ」他

次週礼拝

●一回礼拝(午前10時00分)

讃美歌 讃21363番 やさしい目が
説教「信仰によって」

聖書 ヘブライ人11章23〜28節

説教者 吉村和雄牧師





一回礼拝 (午前10時)

讃美歌 讃21 363番

やさしい日が

説教 「人間に従うよりも神に従う」

聖書 使徒5章27～42節(新約 P222)

司式 山名 隆史 兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄 允湜 副牧師

前奏曲 「ほめたたえよ造り主を」 H.ワグネル

○讃21 363番

1. み神の力は 山を起し

海原を広げ 空を造る

深い知恵により 日は輝き

月は照りわたり 星もめぐる

2. み神はめぐみで 地を満たして

造られたものを よしとされた

見よ その不思議は 大海にも

わが歩む地にも 大空にも

3. 花も木も示す 主のみ栄え

雨雲も風も 主に従う

すべてのもの皆 みむねにより

造られ守られ ここに生きる アーメン

○フルートによる讃美

「私のすべてを捧げてあなたを誉めたたえます」 BW
V117カンタータ 「至高の善に賛美と栄光あれ」 より
J.S.バッハ

○聖歌隊による讃美

「幼な子のように」 詞：水野源三 曲：川口耕平

主よ み言葉を聞いたのに

幼な子のようになれなかった 我が心に

今日も きよけきみ言葉を 語り給え 語り給え

主よ 御心を知ったのに

幼な子のようになれなかった 我が心に

近づいて くすしきみ心を 示し給え 示し給え

主よ 御恵みにふれたのに

幼な子のようになれなかった 我が心に

目を留めて とうときみ恵みを

与えたまえ 与えたまえ

○やさしい目が

1. やさしいめが きよらかなめが

きょうもわたしを みていてくださる

「まっすぐにあるきなさい」とみていてくださる

2. おおきなてが あたたかいてが

きょうもわたしを ささえてくださる

「はなれずにあるきなさい」とささえてくださる

3. かざりのない ひろいところが

きょうもわたしをまもってくださる

「やすらかにあるきなさい」とまもってくださる

アーメン

聖餐曲 「ヴェネヴェント聖歌」

後奏曲 「バッハの名による前奏曲とフーガ」 J.S.バッハ

※礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしるしを毎週お持ち下さい。